

J's REPORT

第64期 中間期株主通信 [平成28年4月1日～平成28年9月30日]

日本金銭機械株式会社
JAPAN CASH/MACHINE CO., LTD.



株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第64期中間期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

敬具

平成28年12月

代表取締役社長 上東 洋次郎

当中間期の業績について

当中間期の業績については、主としてゲーミング市場におけるOEM顧客を中心とする需要の確保に取り組んだことから、売上高は増加し、利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたことにより、営業利益は増加いたしました。しかしながら、円高の進行から営業外損失として外貨建資産の為替時価換算差損を計上したため、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は減益となりました。

今後の市場環境について、中期的には設備投資の抑制傾向が続くものと予想されますが、当社グループでは、「既存事業の収益力の回復」と「新たな収益の柱となる新規事業への積極展開」をキーワードに、業績の回復、事業領域の拡大に取り組んでまいります。既存事業（ゲーミング事業・遊技場向機器事業）では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を積極的に活用し、シナジー効果の最大化により安定的なマーケットシェアの維持・拡大を図ってまいります。新規事業（コマース事業）では、東南アジア諸国の潜在需要や国内のインバウンド需要の確保に努めることにより、既存事業に次ぐ、確固たる収益の柱となるよう、その構築に取り組んでまいります。

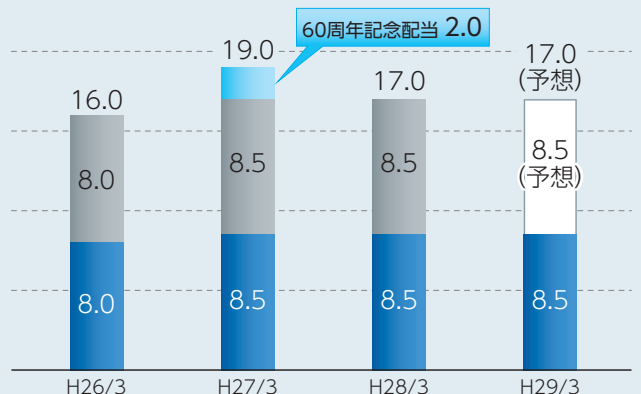
利益還元について

株主の皆様への利益還元につきましては、今期中間配当金は、前年同期と同様に1株当たり8円50銭とさせていただきます。

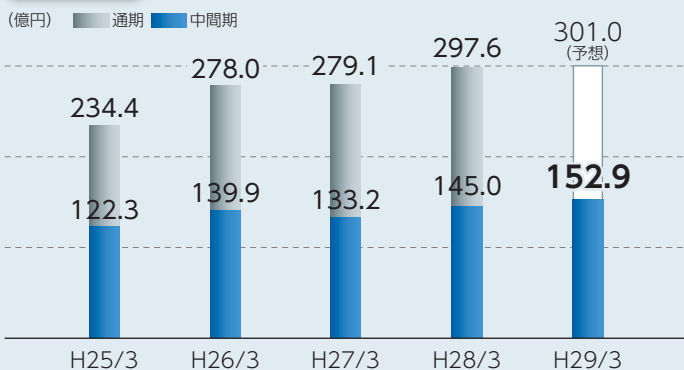
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

配当金の推移

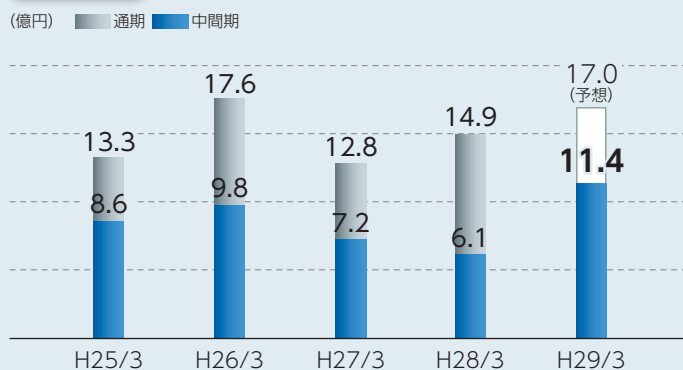
1株当たり配当額 (円) ■ 期末 ■ 中間



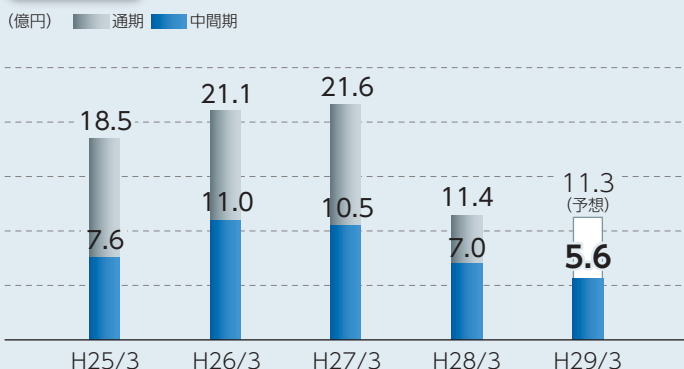
売上高



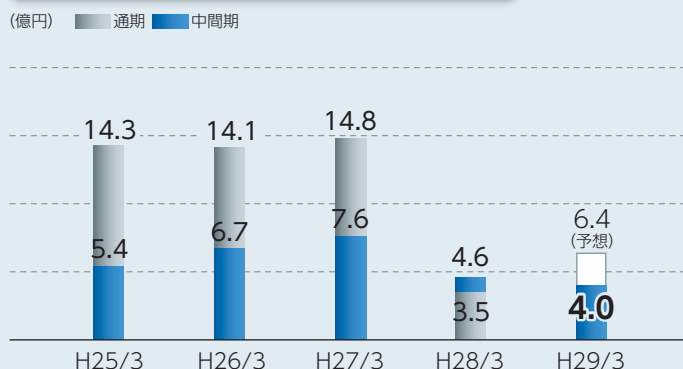
営業利益



経常利益

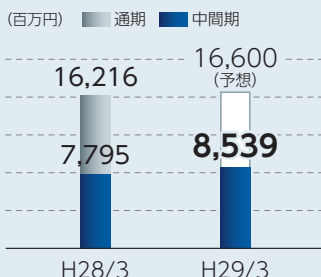


親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

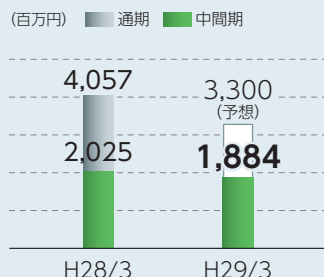


セグメント別売上高

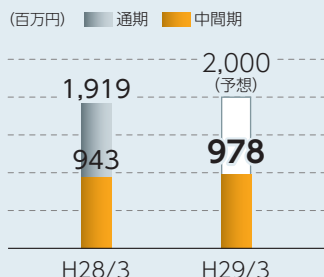
グローバルゲーミング



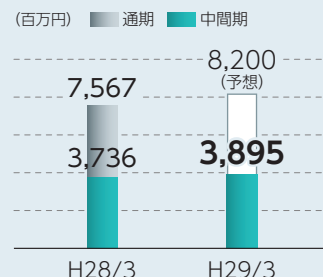
海外コマース



国内コマース



遊技場向機器



注) 本中間株主通信においては、第2四半期累計期間(6か月)を便宜上、全て中間期と表示いたしております。

TOPICS

事業譲受け完了について

パチンコ・パチスロ市場における収益改善策の一環として、本年9月1日付にてシチズンホールディングス株式会社の連結子会社であるシルバー電研株式会社の遊技機器事業の一部について、譲受けを完了いたしました。

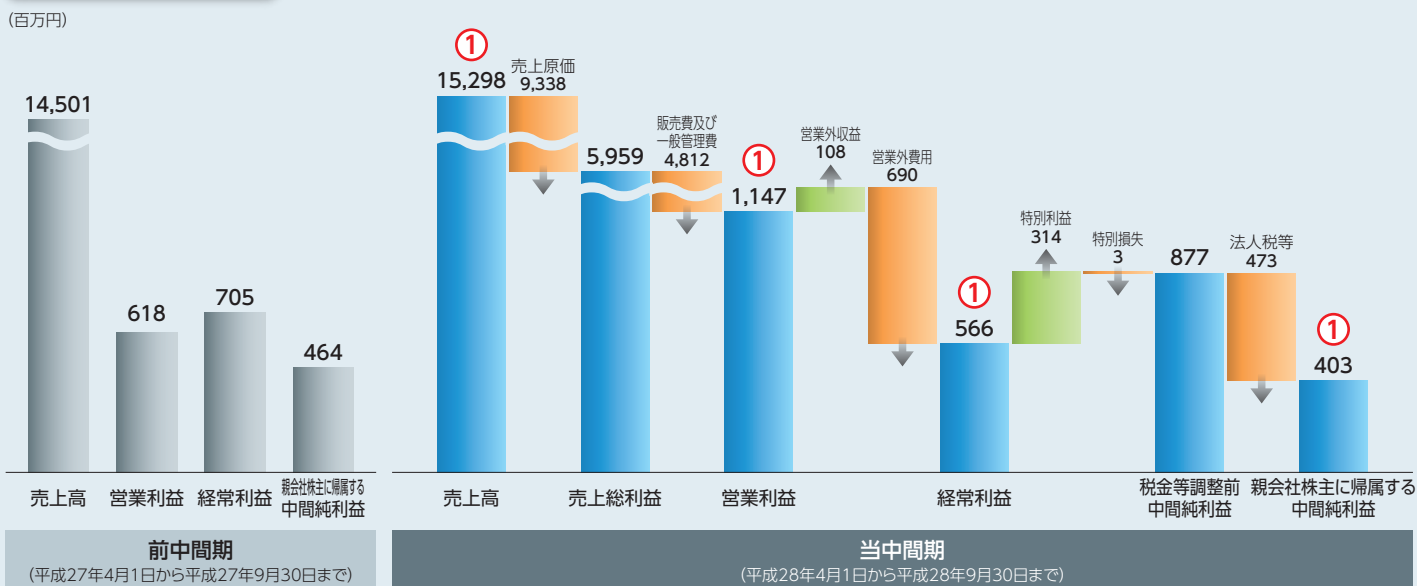
本事業譲受けにより、当社の連結子会社であるJCMシステムズ株式会社を中核とする遊技場向機器事業において、紙幣搬送機器(右記ご参照)など製品ラインナップの充実や顧客基盤の拡大を通じて販売力を強化するとともに、将来の法規制改正や市場環境の変化に即応できる技術力の向上や新商材の育成にも取り組み、シナジー効果を最大限発揮するよう努めてまいります。



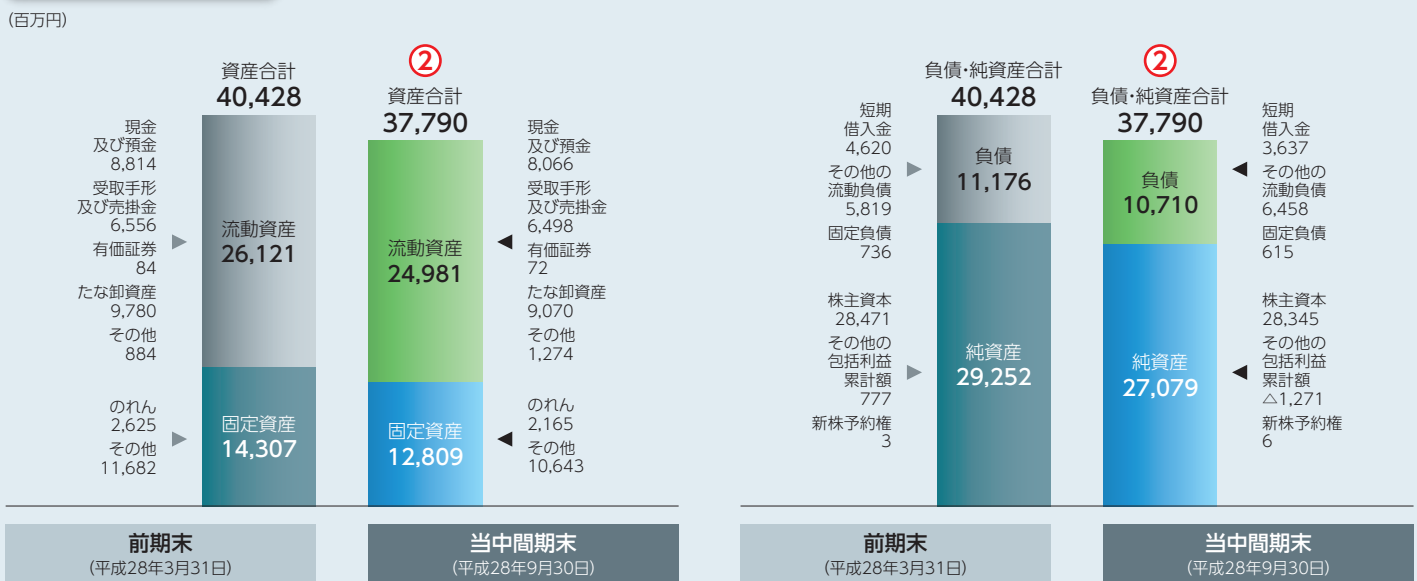
■ 各台紙幣搬送ユニット ML-320H

本事業譲受けに伴い、当社グループが新たに販売する製品です。遊技料金の紙幣による取り込みと回収の効率化を可能とし、省電力設計で、耐久性の高い、メンテナンス性にも優れた製品です。

中間連結損益計算書



中間連結貸借対照表



POINT 1 売上高／営業利益／経常利益／親会社株主に帰属する中間純利益

主にゲーミング市場における需要の確保により、売上高は前年同期比5.5%の増加となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費の削減により営業利益は前年同期比85.6%の増加となりましたが、円高の進行に伴い外貨建資産の為替時価換算差損を計上したことにより、経常利益は前年同期比19.7%の減少となりました。

特別利益計上後の親会社株主に帰属する中間純利益は、

業績の堅調な海外現地法人における法人税額が増加したことにより、前年同期比13.1%の減少となりました。

POINT 2 資産／負債／純資産

ゲーミング用プリンター事業が好調に推移し、同事業の買収資金として金融機関より借り入れた短期借入金の一部を前倒しで返済したことや、自己株式の取得を実施したことにより、現金及び預金などの資産とともに、負債、純資産は減少いたしました。

会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	昭和30年(1955年)1月11日
本社	大阪市平野区西脇2丁目3番15号
東京本社	東京都中央区東日本橋2丁目23番2号
資本金	2,216,945千円
当社グループ拠点 (国内営業拠点)	大阪、東京、札幌、仙台、金沢、静岡、名古屋、 広島、松山、福岡、鹿児島、浦添(沖縄)
(海外営業拠点)	ラスベガス(米国)、デュッセルドルフ(ドイツ)、 ミルトンキーズ(英国)、シドニー(豪州)、 マカオ、上海(中国)
(研究開発拠点)	大阪、東京、バンコク(タイ)
(生産拠点)	長浜(滋賀)、香港、深圳(中国)

取締役及び監査役

取締役会長	上東 宏一郎
代表取締役社長	上東 洋次郎
常務取締役	牧 比佐史
常務取締役	伊澤 輝
取締役	高垣 豪
取締役	吉村 泰彦
取締役(社外)	ブライアン・アンドリュース・スミス
取締役(社外)	吉川 興治
常勤監査役	中村 泰三
常勤監査役(社外)	上野 光宏
監査役(社外)	小泉 英之
監査役(社外)	森本 宏

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、
口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない
株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 平日9時~17時)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,662,851株
単元株式数	100株
株主数	18,394名

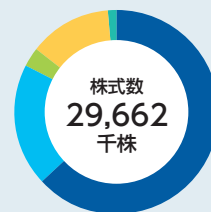
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.43
上東 宏 一 郎	2,707	10.12
上東 洋 次 郎	1,458	5.45
上東 好 子	638	2.39
株式会社りそな銀行	629	2.35
株式会社三井住友銀行	503	1.88
トーターエンジニアリング株式会社	416	1.56
日本生命保険相互会社	403	1.51
株式会社みずほ銀行	389	1.45
日本金銭機械従業員持株会	254	0.95

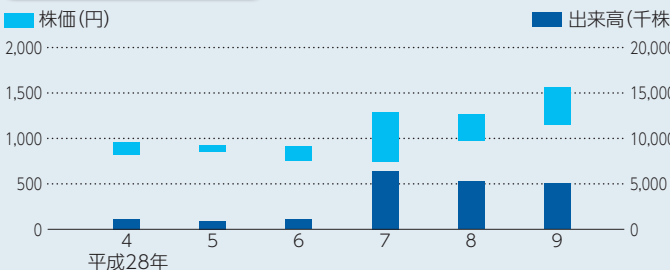
注)上記のほか、自己株式が2,920千株あります。なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

個人、その他	18,778千株(63.31%)
事業法人、その他法人	5,747千株(19.37%)
外国法人等	906千株(3.06%)
金融機関	3,862千株(13.02%)
証券会社	367千株(1.24%)



株価・出来高の推移



【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) http://www.jcm-hq.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	6418



日本金銭機械株式会社
JAPAN CASH/MACHINE CO., LTD.

〒547-0035 大阪市平野区西脇2丁目3番15号
〈お問い合わせ先〉広報・IRグループ TEL(06)6703-8400

